

容器包装プラスチックの量及び容積等の可燃ごみとの比較

東大和市報（平成27年8月1日号）に示された容器包装プラスチック量（プラスチック製容器包装 861.5 t）の3市分の比較については、平成36年度現在の年間排出量（予測）にて行いました。

平成36年度における容器包装プラスチック量は、3市合計で3,550 t/年で、このうち、東大和市分は644 t/年、全体の18.1%です。

< 3市分の容器包装プラスチックの量及び容積等の可燃ごみとの比較 >

		容器包装プラスチック類 <sup>※1</sup>			可燃ごみ (B)	可燃ごみに対する 比率 (%) (A/B × 100)
		ペット	容リプラ	計 (A)		
量 <sup>※2</sup> (t/年)	小平市	624	<b>2,212</b>	2,836	28,185	<b>7.78</b>
	東大和市	151	<b>644</b>	795	16,203	
	武蔵村山市	180	<b>694</b>	874	13,575	
	3市計	955	<b>3,550</b>	4,505	57,963	
容積 (m <sup>3</sup> /年)		19,100	42,300	61,400	463,700	<b>13.2</b>
単位体積重量 (kg/m <sup>3</sup> )		50	84	73 <sup>※3</sup>	125	
低位発熱量 (kcal/kg)		5,500 <sup>※4</sup>	8,000 <sup>※5</sup>	7,500 <sup>※3</sup>	2,067 <sup>※6</sup>	
総発熱量 (Mcal)		5,300	28,400	33,700	120,000	<b>28.1</b>

※1 ペット：ペットボトル、容リプラ：プラスチック製容器包装

※2 平成36年度推計値

※3 ペットと容リプラの荷重平均値

※4 出典：PET ボトルリサイクル推進協議会

※5 出典：ごみ処理施設整備の計画・設計要領

※6 出典：焼却施設平成26年度ごみ質分析結果